

NOTICE サポセンからのお知らせ

仙台市市民活動サポートセンターでは、第2・第4水曜日(祝日の場合は、翌日の木曜日)の他、年末年始の12月29日(火)から1月3日(日)まで休館日となっております。年末年始期間中に保わる貸室申込手続き期限や、申込受付開始日が変わりますのでご注意ください。

● 年末年始の貸室申込予約の手続き期限について

通常は、予約をした日を含め7日以内に使用申込手続きをしなければなりません。ただし、年末から年始明け4日までに手続き期限となる申込予約に限り、1月10日(日)が予約期限となります。

申込予約期限

受付日	手続き切日	本申込締切日
12月22日(火)	12月28日(月)	通常開館 2015年12月28日(月)
12月23日(水・祝)	12月29日(火)	休館日 通常では、2016年1月4日(月)が申込締切日となりますが、 1月10日(日) が期限となります。
12月24日(木)	12月30日(水)	
12月25日(金)	12月31日(木)	
12月26日(土)	1月1日(金)	
12月27日(日)	1月2日(土)	
12月28日(月)	1月3日(日)	
1月4日(月)	1月10日(日)	

● 年末年始の貸室申込受付開始日について

貸室使用申込の受付開始日は、セミナーホール及びシアター全日使用の場合は、6ヶ月前からの受付開始、研修室及びシアター区分使用の場合は、3ヶ月前からの受付開始、シアター時間使用の場合は、1ヶ月前からの受付開始となっております。ただし、年始休館日明け1月4日は、年末年始休館期間の受付開始日となります。

申込受付開始日

受付日	セミナーホール シアター全日貸	研修室 シアター区分貸	シアター 時間貸
12月24(木)	休館日		
12月25(金)	6月24日(金) 6月25日(土)	3月24日(木) 3月25日(金)	1月24日(日) 1月25日(月)
12月26(土)	6月26日(日)	3月26日(土)	1月26日(火)
12月27(日)	6月27日(月)	3月27日(日)	—
12月28(月)	6月28日(火)	3月28日(月)	1月28日(木)
1月4(月)	6月29日(水)~ 7月4日(月)	3月29日(火) ~4月4日(月)	1月29日(金) ~2月4日(木)
1月5(火)	7月5日(火)	4月5日(火)	2月5日(金)

※受付開始日の申込予約は、午後2時以降となります。

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。

このようなご相談おまかせください。

- 市民活動の立ち上げ、法人格の取得、団体運営、組織運営などの相談
- 協働についての相談
- 復興支援活動、シニア活動・セカンドライフなどの相談

今月の休館日：12月9日(水)・12月24日(木)

今月の表紙

「せんくら」の愛称で市民に親しまれる「仙台クラシックフェスティバル」に、物販ブースを出展中の武田さんです。「せんくら」と障害のある方々の作品をコーディネートし、音楽をモチーフにした商品が生まれました。

●情報ボランティア@仙台
https://kacco.kahoku.co.jp/author/volunteer16

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00 日曜日・祝日 9:00-18:00 / 休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

HP <http://www.sapo-sen.jp>
Blog <http://blog.canpan.info/fukkou/>
Twitter @sensapo

発行 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ
発行日 2015年12月1日
編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター
デザイン PEACE Inc.
編集人 菊地 竜生 太田 貴 菅野 祥子 葛西 淳子 松村 翔子

「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。

▶ ぱれっと読者アンケートにご協力をお願いします。サポセンホームページからアクセスいただくか、携帯電話等でQRコードを読み取ってご利用ください。



仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

ぱれっと 12

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2015 No.196

「ぱれっと」には、サポセンにいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月のワクワクビト

障害のある人の個性輝ける道を切り開く

NPO法人エイブル・アート・ジャパン 東北事務局

武田和恵

KAZUE TAKEDA

手ぬぐいやポーチなどの品々が所狭しと並びます。愛らしいモチーフ、大胆な色使い、丁寧な仕上げ…。「どれも個性が光ってるでしょ」と、武田和恵さん(38)は商品を紹介しながら満面の笑みを浮かべます。作り手はみな障害のある人です。味がある図柄だったり、独特の着想だったり、多彩なアート表現をデザイナーや企業の力を交えて商品化。全国の各種イベントや百貨店などにも販路を広げています。コーディネートこそが、武田さんの役割です。

美大在学中、障害のある人の型にはまらない表現に魅せられたのが関わり原点。福祉施設勤務などを経て2012年に今の職に就き、障害者自立の道をアートの力で切り開こうと奮闘しています。目指すのは「障害者の作品だから手に取ってもらえる」という現状から、「魅力ある商品だから売れる」というステージへの進化です。個性あふれる原石を磨き、社会へつなぐ地道な歩み。その営みは「障害という個性」を認め合えるか、社会への問い掛けにも聞こえます。

取材・文：加藤里香(宮城学院女子大学2年)
小林奈央(東北学院大学4年)

NPO 法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局
連絡先 TEL 070-5328-4208 / Mail soup@ableart.org / HP <http://soup.ableart.org/>

「きてみてあじわうSOUP展」(12月13～15日、せんだいメディアテーク1階オープンスクエア) 2014年から宮城県で展開中の障害者の芸術活動支援モデル事業@宮城(愛称:SOUP・スープ)は、障害のある人の表現活動を支えるため、多様なモデル事業を実施しています。東日本大震災後、福祉の枠を超えて市民や企業、NPO、行政とともに実践を積み重ねてきました。期間中は、事例とノウハウ普及を目的とした展示、宮城県で活動する作家・作品を紹介。「Good Job!展」(同時開催) <http://goodjobproject.com/>

特集

若者から若者に届けたい

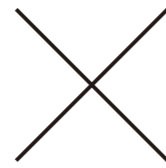
自信と可能性

1日で弾ける! 楽器講座!



特集 若者から若者に届けたい 自信と可能性 1日で弾ける！楽器講座！

自己の主体性や個性が不確かな思春期。この時期の中高生や大学生の自分に対する評価が低いことが、無気力や不登校、いじめ、非行など、様々な若者特有の問題を引き起こす一因となっています。これを防ぐために2つの若者主体の団体が、楽器演奏とピアカウンセリングという技法を通して行う取り組みを紹介します。



バンドグループ
mon-stella (モンステラ)
しらとり りゅうや
白鳥颯也 さん

尚綱学院大学ボランティアサークル
尚綱ピア
むとう かいと
武藤海世 さん

悩んでいるのは1人じゃない

学生バンドのmon-stellaと、尚綱学院大学のボランティアサークル尚綱ピアは、「1日で弾ける！楽器講座！」と題して、ドラムやギターなどバンド楽器の演奏講座を開催しています。小中学生から、高校生や大学生が主な対象。若者が楽器演奏に触れる機会や、若者同士のつながりができる環境をつくり、何かを達成して自信を得られるプログラムを提供しています。mon-stellaメンバーの白鳥颯也さんは、「講座の中では、一方的に楽器の弾き方を教えるのではなく、一緒に楽器で遊ぶように楽しく取り組んでいます」と話します。

この講座の特徴は、楽器演奏を教える中にピアカウンセリングを取り入れていること。ピアカウンセリングとは、同世代の仲間の気持ちに寄り添うカウンセリング方法です。多感な思春期に、ふさぎ込んだり、性の悩みを抱える若者は少なくありません。そんな若者たちに、「同じような悩みや問題を持った仲間がいることに気付いて欲しい」と尚綱ピアメンバーの武藤海世さんは語ります。講座中は、講師と受講生は隣同士で視線を合わせ話をし、敬語を使わないなどの工夫をしています。

「できた！」で、得られる自信

この取り組みは、両団体所属の白鳥さんがキーマンとなり実現しました。自身がバンド活動をする中で、音楽を始めるのに敷居の高さを感じている若者が多いことに気が付きます。一方、尚綱ピアの活動では若者が自分に自信を持っていないことや、自分に対する評価の低さが気がかりでした。そんな思いを持ちながら、2015年1月サポセンで開催した、NPOの基礎を学べる「NPOいろは塾」に参加します。そこで課題を解決するための方法や事例を学び、「音楽が若者の自信づくりに活かせるのではないかと考えました。その後、講座で使用する楽器購入や活動資金を得るため「みんなpresentsまち・むすび助成金」に応募し、助成金を獲得。2つの団体が協働で行なう講座が実現しました。

「何かができるようになるという体験は、その人の自信に直結する」と武藤さん。講座を介して、受講生同士がバンド結成を目指したり、ボランティアに興味のある受講生が尚綱ピアの活動に参加したり、若者同士のつながりにも変化がありました。「受講生が成長していくところが見えるとうれしい」と白鳥さんは、講座の経験が役に立っていることを実感しています。

図解 仲間と奏でる音楽が、自分の力になる



■連絡先
mon-stella(モンステラ) TEL 080-6020-7145 Mail fashion-sense-0@ezweb.ne.jp(白鳥)

若者に笑顔と活力を

武藤さんは、この取り組みを通してピアカウンセリングが今の若者に必要だということを再認識しました。「ピアカウンセリング活動の認知を広げ、少しでも多くの若者の問題を解決していきたい」と語ります。

互いに共感し合える仲間の存在は、新たな挑戦への支えとなります。「音楽は私たちが提示できる手段の一つ。生きていく中でなにか壁にぶつかったとき、乗り越えられる力を持って欲しい」。白鳥さんたちは、失敗を恐れず自信を持って活躍できる若者の姿を描き、これからも活動を続けます。

(取材・文 宮崎真央)

こちチェック 若者たちが、仙台のまちを音楽やアートで盛り上げる HiLINE (はいらいん) 実行委員会

仙台・宮城県在住の10代～30代の学生・社会人で結成するボランティア団体です。ライブハウスでの音楽イベントや様々なアートイベントに、気軽に足を運んでもらう仕掛けづくりをしています。「音楽やアートを通して人と人をつなぐ役割を果たしたい」という思いで活動中。2012年から始めた冬のフェスティバル「HiLINE WINTER FES」は、4回目を迎えます。今年は、青葉区一番町エリアに設けた3会場で、宮城県内外から15組のアーティストを招いたライブと、手づくりアートの物販会を開催します。当日のボランティアも募集中です。一緒に盛り上げてみませんか。

●12月23日開催 HiLINE WINTER FES 2015～仙台まちなか芸術祭～
問い合わせ Mail info@hiline.jp HP http://hilinejp.tumblr.com/

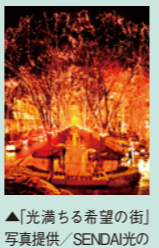
お役立ち本 最貧困女子

働く10代～20代単身女性の3人に1人は1年間の所得が114万円未満。そこに家族・地域・制度との無縁が加わり、貧困に陥る女性が増えています。中でも、著者は、セックスワークで生計を立てる女性たちの取材を通し精神・発達・知的障害という課題を抱え、貧困の地獄の中でもがく姿を明らかにしています。埋もれてきた女性の貧困問題を可視化することで、解決の糸口を探ろうとする一冊です。



コトハシメ 12月6日～12月31日 市民の手でつくりあげる SENDAI光のページェント

毎年12月、仙台の定禅寺通で開催される「SEDAI光のページェント」は、市民有志の実行委員会が運営しています。今年で30回を迎える恒例行事は、地元企業の協賛金や市民からの寄付で運営され、多くのボランティアが街頭に立ちます。「ページェントが好き」「仙台が好き」そんな市民の気持ちと小さなアクションが、今年も仙台のまちを輝かせます。あなたも市民に愛され続ける光のページェントを支える一人になってみませんか。http://www.sendaihikape.jp/



▲「光満ちる希望の街」写真提供 / SENDAI光のページェント実行委員会

インフォメーション 実践！事業戦略と資金調達講座～活動力強化講座～

「活動計画についてのお悩みはありませんか？」事業の成果を定義したり、自分たちの活動する地域を分析したり、団体の強みを再認識することで、団体の置かれた状況が整理され明らかになります。明らかになった状況をふまえることで、今後の事業を戦略的に組み立てたり、より良い資金計画を策定することができます。活動力強化講座では、事業戦略に詳しい講師を招き座学と実践的なワークを組み合わせることで、講師のアドバイスを受けながら団体のお悩みを解決する場を連続講座で提供しました。講座終了後はサポセンスタッフが講座の実情に添った、個別の活動相談にも応じました。今後も団体の活動力強化に役立つ講座を随時開催しますので、ぜひご参加ください。



▲講師の長浜洋二さんからのアドバイス